有識者による
パネルディスカッション

資料

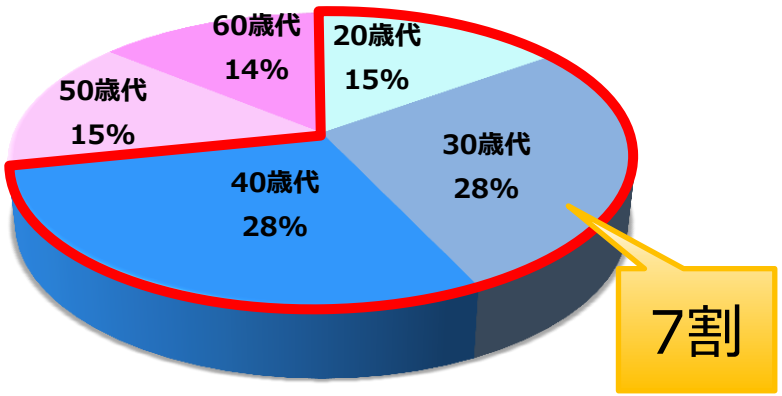
つみたてNISA口座開設者の傾向について

- 一般NISAと比べ、つみたてNISAは20代～40代による口座開設の割合が多い。
- 一般NISAからの切り替えではなく、新規の口座開設の割合は約６割超。

⇒ **一般NISA（非稼動）からの切替も含め、新たに投資を行う層が広がりつつある。**

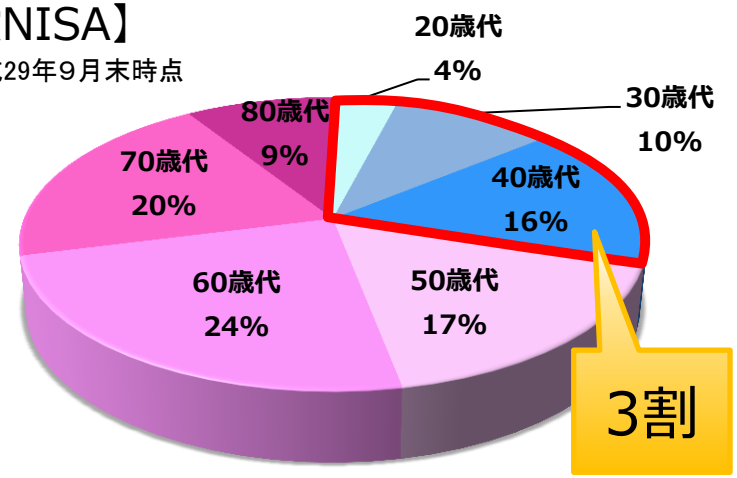
世代別比較

【つみたてNISA】

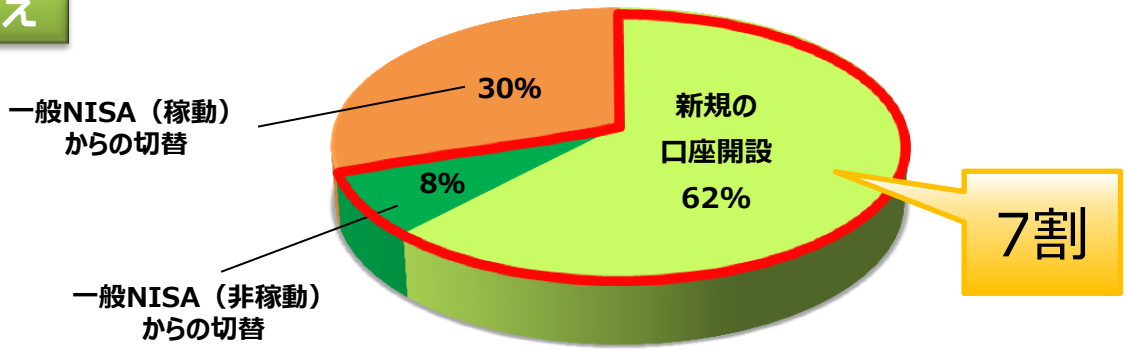


【一般NISA】

※ 平成29年９月末時点



新規開設/切り替え



※ つみたてNISAについては、主な金融機関へのヒアリングベース（平成30年１～２月）

「職場つみたてNISA」の導入・展開について

- 現役世代を中心に、安定的な資産形成のニーズが高まっている！
- 他方、多くの人が、「きっかけ」がなく、資産形成（投資）に踏み込めない！

✓ つみたてNISAは、投資未経験者の資産形成にベストマッチ。
✓ 身近な場（職場）で、資産形成を始める「きっかけ」が必要。
✓ 職場においても、投資を学べる機会があることが大切。

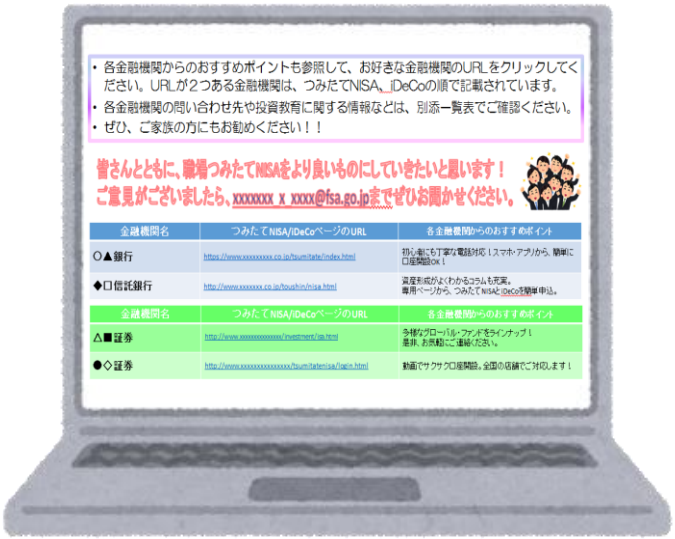
○ まずは、金融庁において、「職場つみたてNISA」を導入。
○ 他省庁、地方自治体・民間企業にも「職場つみたてNISA」を展開。

■ 内閣人事局から各府省への文書（平成29年11月）
金融庁 ⇒ 霞が関全体へ

■ 高齢社会対策大綱（平成30年2月）
霞が関 ⇒ 地方自治体・民間企業へ

金融庁における「職場つみたてNISA」の取組み

ポータルサイトに情報を掲載



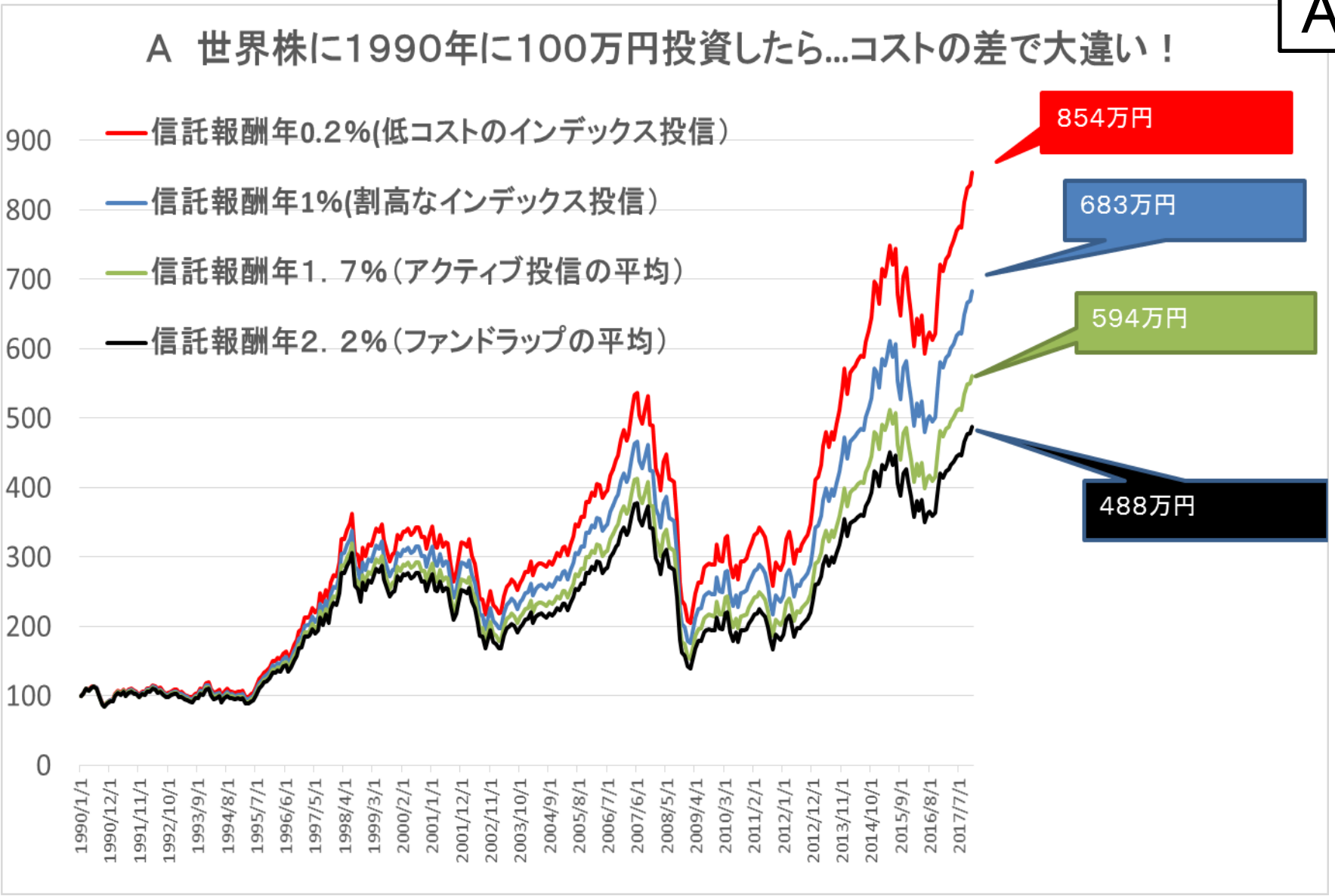
- つみたてNISA・iDeCoの情報を金融庁のポータルサイトに掲載。
- 定期的にメルマガを作成・送付。

職員向けセミナーの開催

金融庁つみたてNISA セミナー（H30.2.26）

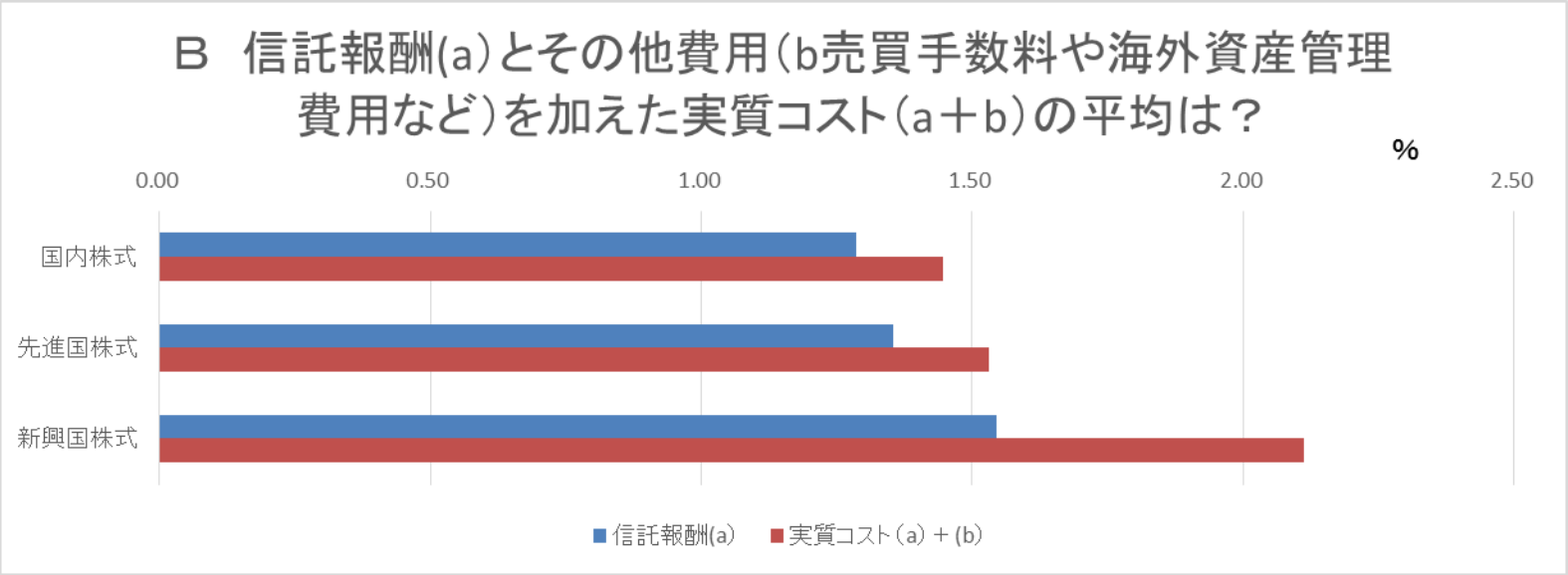
- 金融機関の方を講師に招き、つみたてNISA・iDeCoについて、職員向けセミナーを開催。

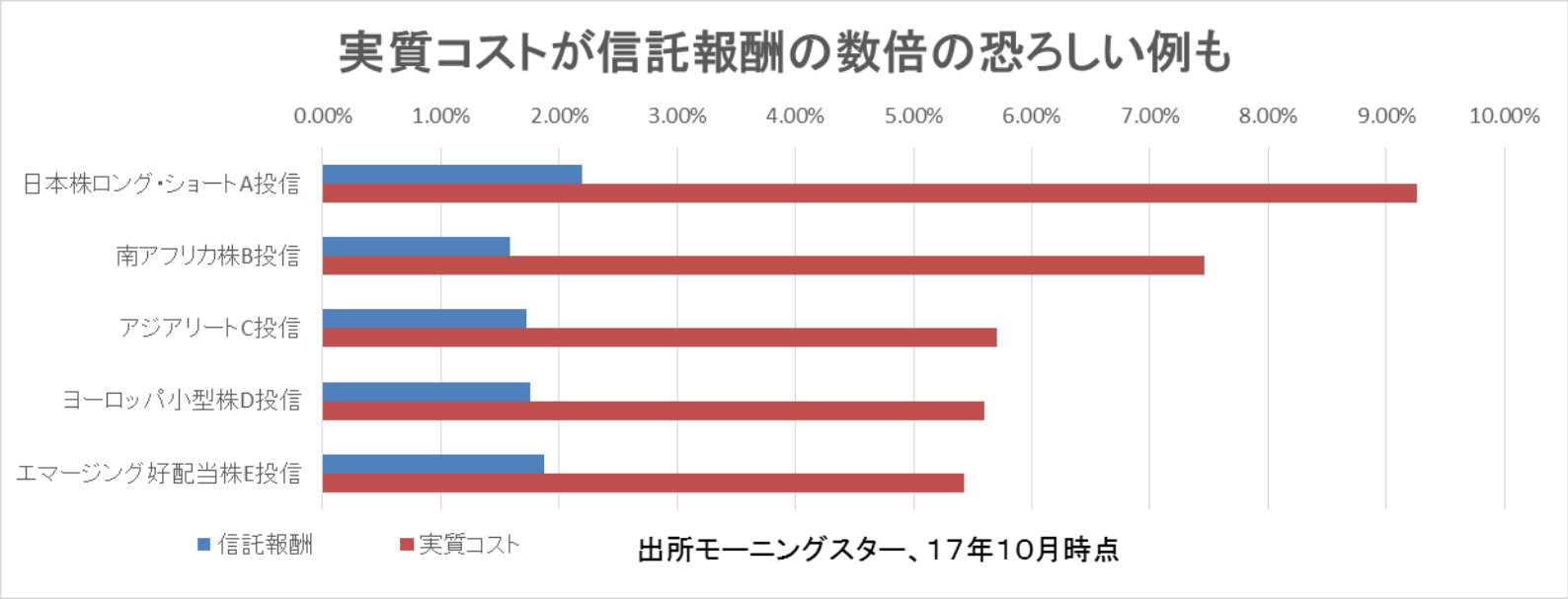
A



＊値動きはすべてMSCI　コクサイ（円ベース、配当込み）と同じと仮定

B



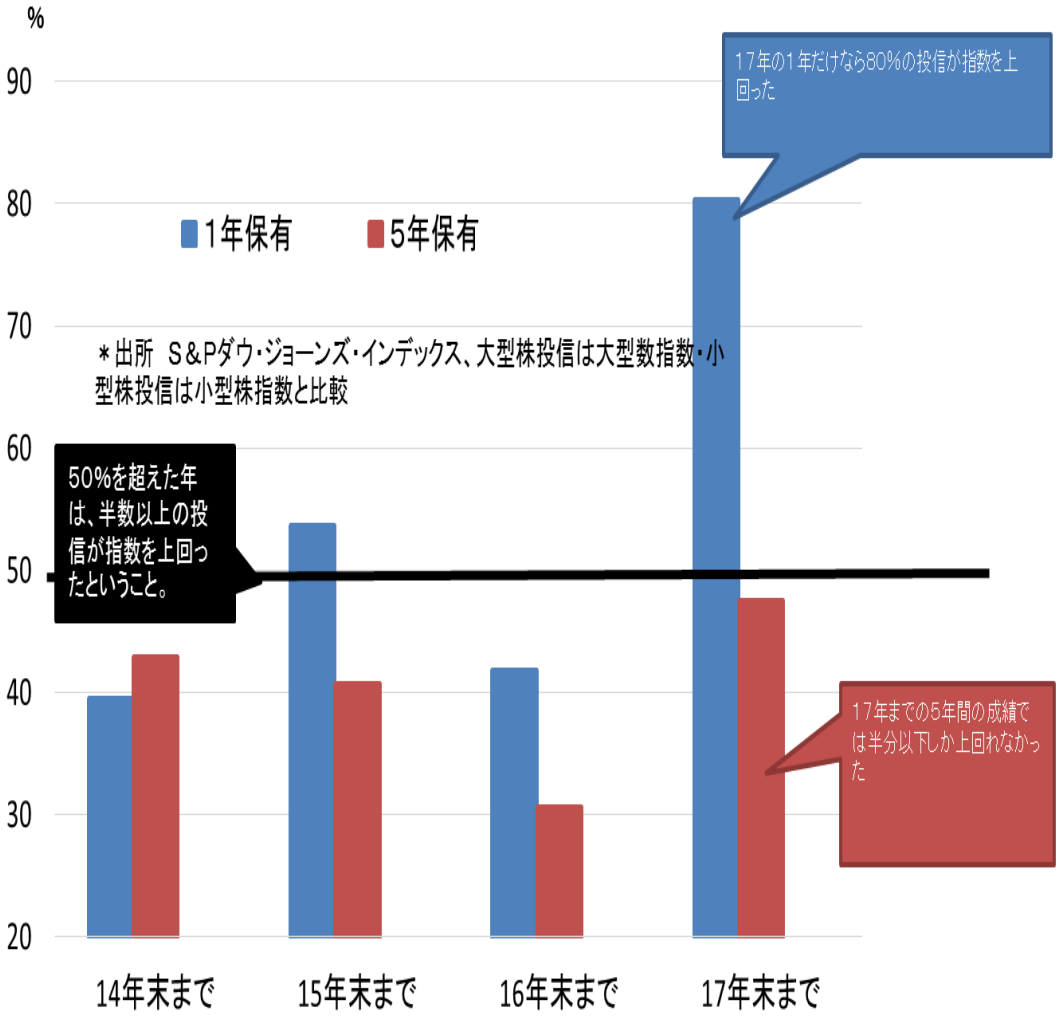


＊実質コスト(の概数)は運用報告書の「1万口あたりの費用明細」やモーニングスターのサイトで確認可能

各種データを基に日本経済新聞社・田村正之作成

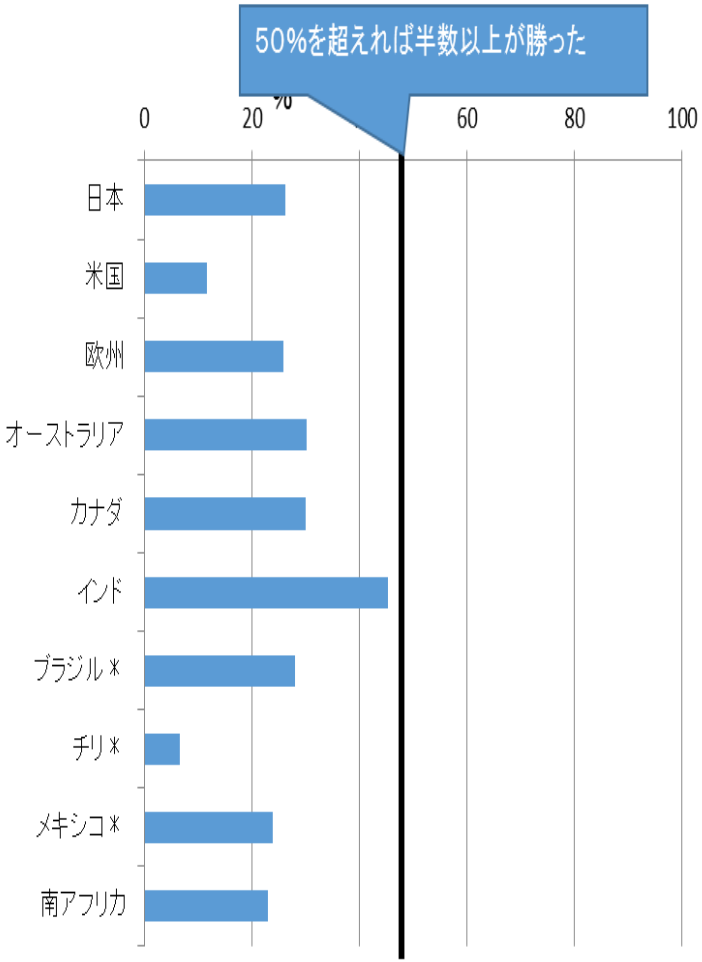
C

C 日本株の指数を上回ったアクティブ型日本株投信の比率(%)



アクティブ投信は指数より通常は値動きが激しいので、相場がいいときは指数に勝つ投信が増える。
しかし長期では重い費用負担を補えず指数に負けやすい

2016年末まで5年間のアクティブ型株式投資信託の成績が株価指数に勝った比率



(注)出所、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス、＊印は2016年6月末

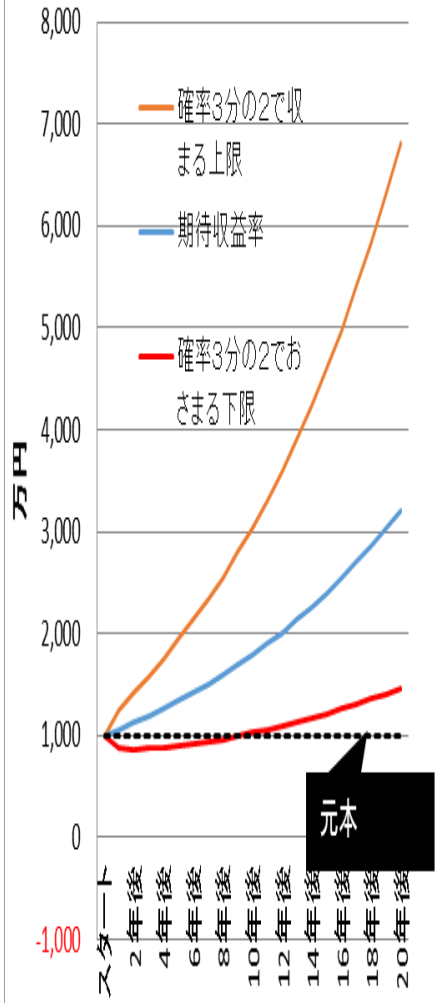
「新興国はアクティブが強い」は都市伝説？

各種データを基に日本経済新聞社・田村正之作成

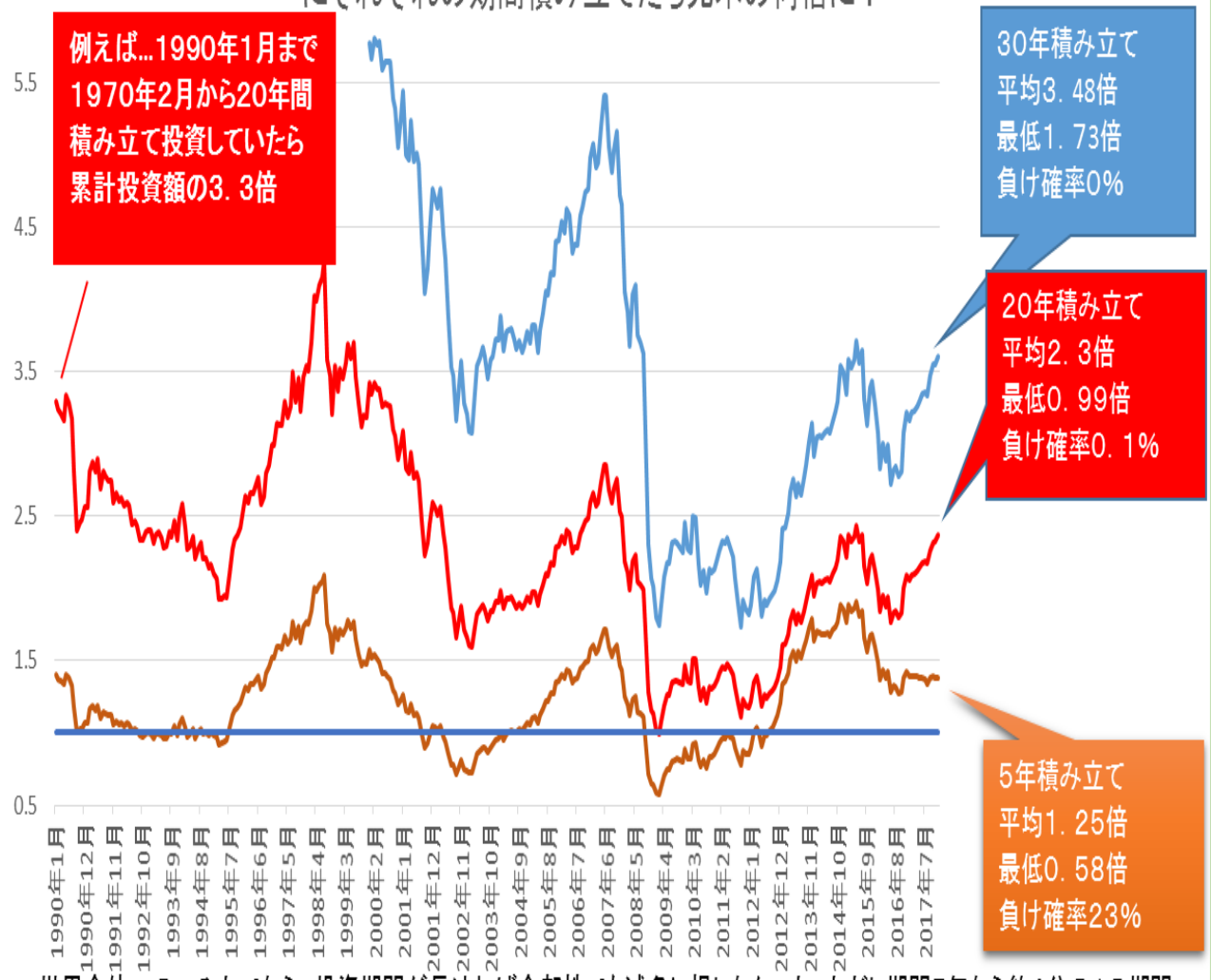
D

D-1 世界株(期待リターン6%、リスク18%)なら…成績は確率約3分の2で赤と緑の間で推移

＊リスク・リターンは格付投資研究センター(R&I)の長期予測



D-2仮に各時点まで世界株(MSCIWORLD指数＝円ベース、配当込み)の連動投信にそれぞれの期間積み立てたら元本の何倍に？



・世界全体へのつみたてなら、投資期間が長ければ全部株でも滅多に損しなかった。ただし期間5年なら約4分の1の期間で損

・ちなみに一括投資で20年保有なら、リーマン直後までの最低でも1.7倍(すべての資金が20年全期間長期投資できたため。つみたては直前に投じられた資金も含まれていて一概に倍率を比較できない)

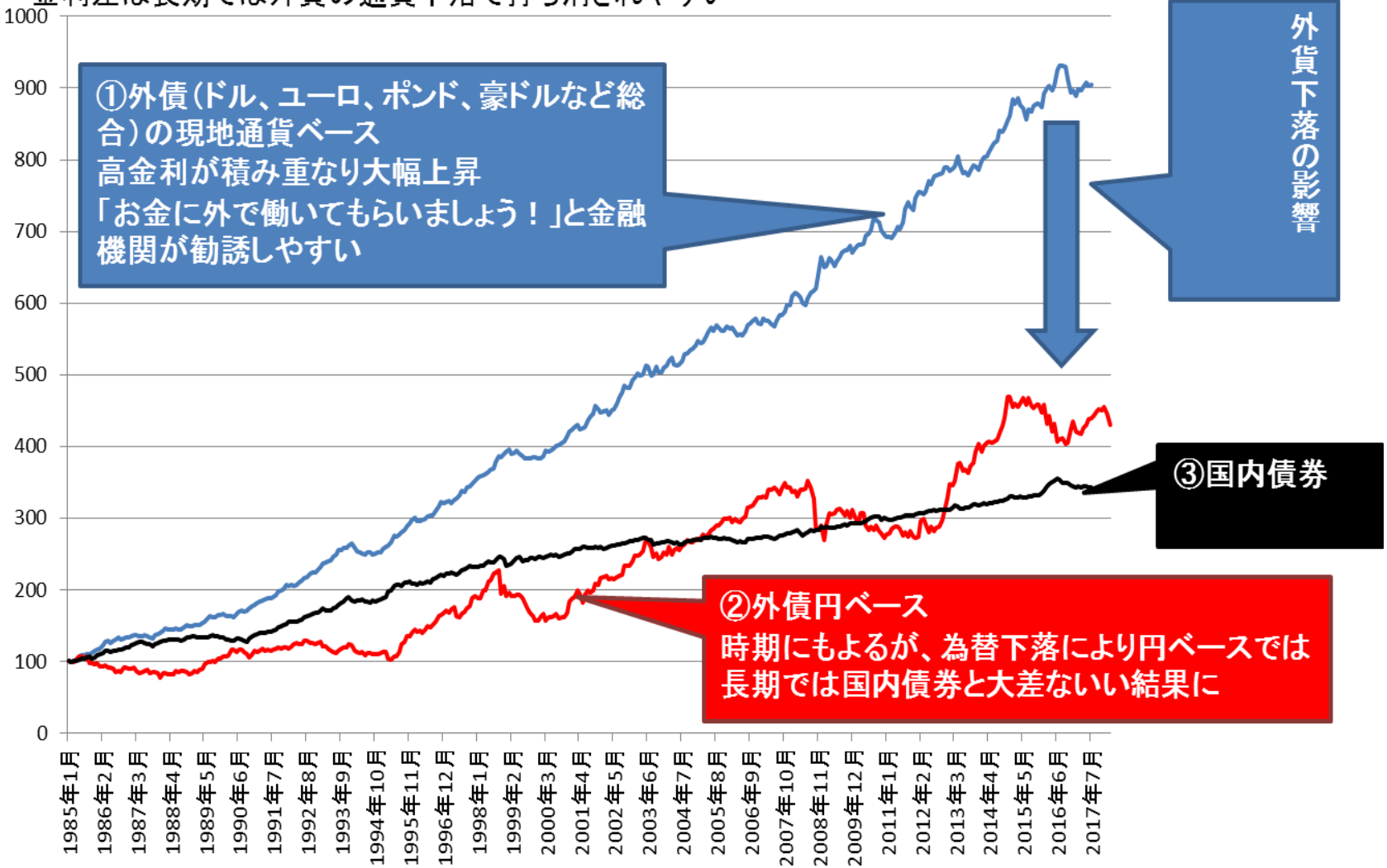
各種データを基に日本経済新聞社・田村正之作成

E

E 外債はもうかる？

高金利≒高インフレ≒通貨下落

金利差は長期では外貨の通貨下落で打ち消されやすい



①②はシティ世界国債インデックス、③はNOMURA－BPI総合、①②の算出開始の1985年1月を100とした

各種データを基に日本経済新聞社・田村正之作成